聖州新報
Semanario de S,Paulo
Rua Piratininga, 4-75, 4-79
Caixa Postal, 58 BAURU
Director e Redactor
ROCRO KOWYAMA
ASSIGNATURA
Anno 20$000
Semestre 16$000
Trimestre 6$000
Mez 3$000
Semana $800
廣告料 一段一回 壹拾圓 二段 全頁 壹拾五圓
一年前金六〇〇〇 全後金壹〇〇〇
社主兼編輯人 雲山大郎

佳節

葉櫻の匂ひ、東海の大和島根陽春四月の匂ひだ葉櫻けぶる皇城に、吾等が若き聖上は、御健かに、御麗かに、今日ぞ、御齢卅の御誕辰を迎ゐさせられた。

南米東岸の一高台上、異邦にあつても、吾等拾萬大和民族は、

此処に咲く菊の花翫して、遙かに聖上の御佳節を寿ぎ奉る。

何國の民族が、其元首の誕生日を、斯くも麗らかな快よさもて寿ぎ祝ふであろふか。

斯の優にゆかしき情緒を育み得たる吾等大和民族は幸である。

吾等殖民第一世が滅びても、殖民第二世は祖國元首の此佳節を永久に、寿ぎ奉れ。

大和民族の住む処、世界到る処、波静かに、地平らに、人の心は和むであろふ。

吾等は平和の民である平和の民であればこそ國の元首の誕生を、寿ぎ祝ひ得るのである。

日本人の此ゆかしき情緒、やがては伯人の心にも清く感染するであろふ菊の香の如く、葉櫻の匂ふ如くに。

椰子の葉蔭、珈琲の葉蔭、日章旗樹てゝ、伯國旗樹てゝ、吾等が聖上の誕辰佳節を、嬉々と祝し奉る。

天長佳節

櫛風沐雨探富源　花野生
開拓清溪五戸村
雖戰秋晴棉似雲
佳辰聊又旭旗翻

又

故國四月艶陽時
今日米南秋色移
黄菊滿庭沾白露
佳辰遙拜捧芳枝

麻州へ の 一路 (8)

公孫樹

ピラプタンガ地峡

朝飯を済まして汽車の食堂から坐席に戻つたら、間もなくピラプタンガ驛に着いた。

驛亭らしい赤土煉瓦の家が二三軒あるばかしだ。バナナを賣つて居る六十齢の婆さんが、屋台の後ろに起つて居た。

周囲はマットだ。

驛の兩側は百歩を距てゝ高い島山だ。

驛は地峡底にある。

地峡だ々々々、

峡……屏風を立てた樣に、峡の頂は汽車の窓から三百米突も空に聳ゑる頂は森山が繁りに繁つた森山だ。

仙人でも住んで居るゝじやなからうか……赤壁の峡い大石、巌大！

記者は久し振りで大巌を汽車の窓から仰いだ。

今にも屏風の樣に倒れてきそうな赤壁。

汽車は静かに動いて此峡の極を縫つて行く。

谷川……火山岩の流れの樣な谷川……澄みきつた水が流れて居る。

記者の斜向ふに坐つた居た、英人紳士も窓から猪頸を出して頻りに此地峡の絶景を仰いで居た。

此島山が南から北へと數百里間ボツリ〳〵と奇峯を連らならする。是れがマラカクヂヤでなくマラカヂユー山脈である。

此山脈が麻州ダイヤ地帶の一つだそうな。

汽車の窓から振かゑり〳〵私は此奇峯を眺めた。

自然界の偉大を慕ふ心であつた私は久し振に偉大な山に接した心の潤さを感じた。

アギダワナ驛

井戸水は總て塩ばいそうな。地穀を堀れば、処々の地層から、貝穀の化石が出るそうな。

南米中原中の一番低地面で海拔二拾四米突しかないそうな。

斯うした智識をもつ私にとつては憧憬のアギダワナ驛……驛についた時、プラタフォルマは所謂マットグロッソエンセで埋まつて居たが、驛の軒端の廣場には蜜柑空箱に入れられた猫が一匹ニャア〳〵と睡むそうに泣いて居た。

箱詰めの鶏も四五羽卸ろされて居た。

人雑踏の中に。枯木の如く痩せた赭色の日本青年が居た、顔には所謂ソバカスが一杯。

玆には原源之助さんが居る、鹿兒島生れの男で、俺と同航海生だ一寸會つて肩でも叩いてやりたいと思つた。

鉄路の右側斜に野砲隊の營舎があつた。白い砂の上の町だ。

女の甘い処、塩辛い水の出る処暑い低地のアギタワナ町、歸りには一夜泊つて行く旅行者が可成多いそうな。

サロプラ驛

驛につく僅か手前に百メートルばかしの河に、架けかゑつゝある鉄橋があつた。

驛の前后は水草原だ。

軌道一メートルの側は草の水原だ。斯んな処に驛が……と停車して見ると私は全く慮外であつた。

プラタフォルマに日本人が四人……それが孰れも工夫姿だ。なつかしさうに私の窓へ寄つて來た。

私は手帳を出して其人々の姓名を忙がしく左の如く書きつけた。

福岡　森松善太　家族三人
鹿　田中修一　獨身
仝　仝
廣島　鮫島佐次郎　仝
河本種五郎

何処へ行くと訊ねるから、ポルトだと答へた

何年居るかときいたら、七年居ると答へた。

斯くて汽車はピイ——と出てしまつた。

さよなら〳〵

振りかゑると彼等のタマンコ姿が驛頭に向ふひきに歩いて居た

ボドケナ驛

此驛は歸來何うしても記者の頭に浮ばぬ。手帳を開くと水清い処だ驛の屋根の上にトンボが飛んで居た……として居つた

奉祝天長節
横濱正金銀行
リオ・デ・ヂヤネイロ支店

奉祝天長節
海外興業株式會社
ブラジル支店
Parque Anhangabahu 18—Caixa Postal 3015
移民部
アニューマス農場　植民部
イグアペ植民地　産業部
代理部　フォード自動車 スタンダード石油

奉祝天長節
サントス日本人會

祝
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミズカミ、イ、コムパニア
サントス市シダーデ、デ、トレド街二五番地
モンテデステ、デ、カムピーナス農場
カムピーナス—郵函五九號
モンテデステ、デ、ピンダモニヤンガバ農場
中央線ピンダモニヤンガバ—郵函一〇號

奉祝
日伯拓殖株式會社
バラマンサ耕地
日沖剛

世界珈琲會議の各國代表顔振

伯國外務大臣は農務大臣へ左の如く通告した

華府大使館よりの報によれば珈琲世界會議の北米代表者はリオ駐在の北米總領事チャーレスカメロン氏及商業團委員のヘンリ、グリーン氏に任命された由

カテテ宮殿の器物紛失

十月革命のドサクサまぎれにカテ、宮殿備付けの晶器物や陶磁器の名器が紛失して居る、前大統領官舎の備品であるので政府當局はその行衛を探索中

麻州の聯邦目附役

飛行機イグワスー號にてマトグロッソ州聯邦新目附役アルフール、アンフーネス、マシエル氏首府クヤバ市に到着したので市長及市民は去る二十四日其場で大歡迎をやつた、斯くて前目附役アントニオ、メンナ、ゴンサルス氏より政權を讓受した

鐵道枕木の輸出向にペローバ材の試み

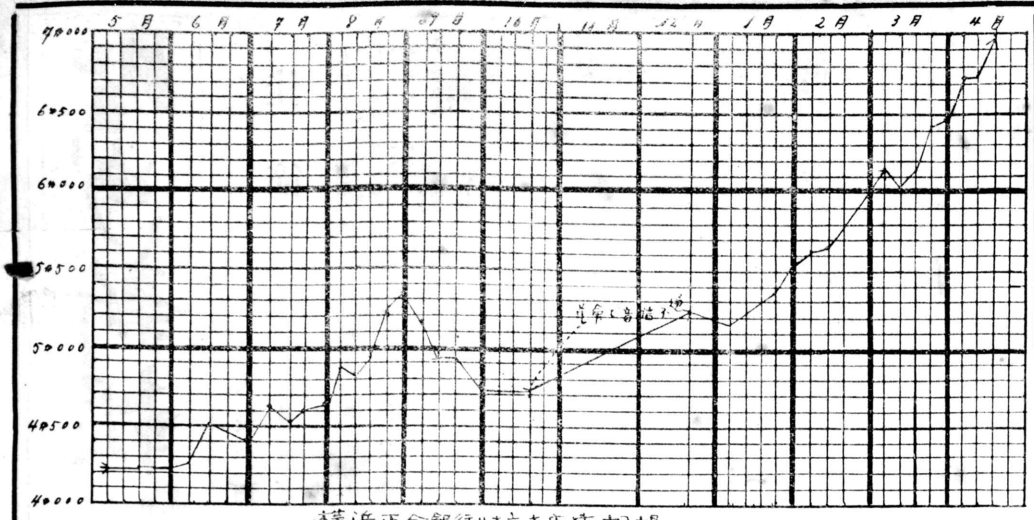
鐵道大臣は外務省を經て駐ロンドン伯國大使へ拾二本のペローバ材鐵道枕木を輸送した、ペルムス、レンベック鐵道會社へ鐵道枕木用材として試用して見て呉れと依頼した、成績がよかつたらペローバ材は伯國輸出品の一種なるであらうと云ふのだ

勞働國際聯盟會議伯國代表者

來る五月二十八日ジエネバに於て開催する第十五回勞働國際聯盟會議伯國代表委員にはジュゼカルロス、マセド、ソアレス大使を政府代表に、資本家代表にアロジャード、リスボア氏を、勞働代表にアウグスト、デ、アゼベード、サントス氏を任命し各自承認した

爲替

正金銀行リオ支店取扱邦貨一圓に付六ミル五八〇【四月廿五日】



横浜正金銀行リオ支店建相場
日本円替伯貨高低表　自一九三〇年五月至一九三一年四月末迄

支那の治外法權徹廢交渉

南京政府外交總長王氏はノルウエ公使と治外法權徹廢の條約交渉を遂げた、支英間の此問題は未だ解決に至らず解決の途にあるもと

電滴

▲祖國の天長節を遥拜する在伯邦人の氣持は聖州に黄菊白菊紅菊薫つて居る時節柄丈けに感激が多くて芽出度い

▲不景氣であればある程天長節も感激が多くて芽出度い

▲貧乏程親孝行の子が多く從つて其孝行の度も濃厚と云ふ理と同じが芽出度い

▲國亂れて忠臣出で……伯國には忠臣の簇出だ芽出度い

▲案内狀拾七通に對し來客七人の通知珈琲世界會議斷然ダ――の氣味でなく芽出度い

▲圓替ね七ミル斷然前古未曾有といふので芽出度がる事にする

▲亡者三浦日伯社長が三途の河から後戻りするげなそれでおしまいで芽出度い

▲芋を洗ふのと同じく揉めばもむ程同仁會も亞苦の皮がひけて芽出度い

▲四月も調度昨日だ神戸埠頭を第一回日本移民船笠戸丸が伯國向け解纜した日だ、それから伯國日本移民の誕生日も廿三年目である芽出度い

▲伯國日本移民の産婆役である水野鶴翁も七拾三歳でパラナ州クリチバにピン〳〵して居られ芽出度い

▲伯國日本移民の姆役上塚周平翁も五十六歳で酒の氣が斷然ぬけ聖市に今健在で芽出度い

▲天長節日和だ、領事館も今日はおやすみである日本人耕地の草刈も今日は一切お休みである

祝天長節

沖商店

本店　ドアルチーナ驛
支店　福壽植民地
仝　マリヤ驛
パウリスタ線ドアルチーナ

祝天長節

安元商店

本店　ドアルチーナ驛
支店　第二福壽植民地
パウリスタ線ドアルチーナ驛

Calixto Adas & Irmãos

奉祝天長節

珈琲精撰　精米　倉庫業
マキナ、マツ、カルド　グワキサーラ驛
アバニヤンダーバ驛

奉祝

家具商　古賀政治
パウル市ジョン、ペソア街

奉祝

日用雜貨商並ペンソン　溝神金助
パウル市ビーラ、ファルコン

奉祝

ペンソン並パール　須崎兼房
パウル市インコンフイデンシヤ街

奉祝

穀仲買商　安戸敏之
パウル市インコンフイデンシヤ街

奉祝

日本旅館　沖山心平
パウル驛前

奉祝

洋服洗濯業　金城平藏
沖山旅館内

奉祝天長節

芳賀仁吉
パウル市バンデランテ街三ノ三一
カーザ東山
代理人

祝天長の佳節

聖州新報社同人

Matriz
Rua Azarias Leite 1-82
Telephone-322
Baurú

Filiaes
em S. paulo e Marilia
Engenho de Arroiz e Café
em Baurú e Marilia

SEGUI & CIA

奉祝天長節

本店パウルー市　アザリアス　レイタ一一八二
支店　サンパウロ、マリリヤ
工場　パウー、マリリヤ
精米及珈琲精撰
一般農産物取扱
日本品直輸入
内外雜貨販賣
瀨木商店

奉祝

ホテル・プログレッソ
パウルー驛前
澤尾磯七

Sociedade Colonizadora do Brasil Ltda
Rua Bôa Vista No. 11, 8o andar
Tel, 2-1342 Caixa Postal 2975, São Paulo

祝天長節

△低資融通の途開かる!!

一、入植の好期に本組合の一大英斷

一、今直ぐ入植の方には資本金として邦貨金五百圓を融通致します

尙詳細は左記へハガキで申込めば案内書を差上げます

サンパウロ本部事務所　Caixa Postal, 2975 São Paulo
バストス移住地事務所　C. Postal, 93 Est. Rancharia L. Sorocabana
チエテ移住地事務所　Fazenda Tiete Est. Lussanvira L. N. O. B.

有限責任ブラジル拓殖組合

Casa São Bento
Getulina ~ Lins

奉祝天長節

内外雜貨　農産物仲買
建築請負業
山下藤太郎
リンス驛ジエツリーナ町
郵函……三五

奉祝天長節

ボアビスタ日本人會
ソロカバナ線
リオバルド　ド　サンタクルス驛

奉祝

プランタ機製作
自動車　諸機械修繕
下矢鐵工所
下矢治三郎
ノロエステ線リンス市

共和殖民ばかりでなく 英雄殖民も出でよ

徳川時代に、大名の凡藏を並ばかした。

現在の吾々在伯邦人殖民の狀態を盡々と案ずるに、各線とも平凡な殖民ばかりである。

是を稱して並び殖民と稱しよう。

經濟の方面から觀ても、角度をかゑて事業の性質から觀ても人物と云ふ角度から觀ても、生活樣式の點から見ても、氣の毒だが平凡な並び殖民ばかりだ

並び殖民と云ふのが、皆の氣に入らぬなら、共和殖民と呼んでもいゝ。

何処もかしこも共和殖民ばかりだ。

何処か一ケ所位は、專制殖民地がありそうなものだに、皆んなアリアンサ式だ。組合殖民で何処の日本人會の會長さん見ても並び大名に過ぎない。

徳川時代には、西に島津が幕府に虎視された。

東に伊達が幕府に恐はがられた。

在伯邦殖民の昨今は、西にも東にも南にも、中央にも、一人として殖民中堅人物なるものがない。

一頃は、ソロカバナ線にジャカレーたる星名翁が居て、何時も齒噛出して居た。彼は決して共和殖民ではなかつた。

ノロエステ線に上塚周平さんが居て、兎に角當地方の中心人物となつて居た。

セントラル線には、西原翁が居て壓をきかして居り、リオ市には怪物然たる山縣翁が居て軒昂ばかし高く上げて居たが、兎に角此殖民地も共和殖民地じやなかつた。

山縣逝き西原去り、星名亡び上塚衰へた。今日在伯邦人の殖民は、全く並び大名然たる並び殖民になつてしまつた。

殖民は皆んな共和だ。平和だ平々凡々だ。

それでも現在にあつては何うしようもない事だ。

聖市邦人界に於ても、誰れかの一睨みで、皆が愚々吠ゑおとなしくなる中心人物が一人も居らなくなつた。

皆んなが蛙の樣に、グウ〳〵と唄つては居るが、偉彩を放つ聲は一ツもない。

黑石にしろ、高岡にしろ、揮旗にしろ、並び大名然たる凡藏ばかしだ。

そこに行くと、三浦は今拾年もしたら、三代樣の大久保彦左位の處にはなれたらうにと偲ばれる。

ノロエス線に誰れが居るか。

ソロカバナ線に誰れが居るか

パウリスタ線に誰れが居るか

アララクアラ線に誰れか。

ジュキア線に誰れか。

公使と領事の古手が、何處かに居る筈だが、バナヽ喰つた珈琲摘んだりして並び殖民で終りつゝある。

共和殖民——平和殖民——アリアンサ殖民——組合殖民——決して結構でない譯じやない。

彼等並び殖民を一人々々點檢すると、「彼も人の子」と云ふ感はある。所謂「ポンヂニオ」だ。

「ポンヂニオ」の寄合殖民、それが聯盟合同して、現在の日本移殖民である。

だが、印度にガンヂ——が居る樣に、英國にマグドナルドが居る樣に、伊太利亞にムソリニ——が居る樣に——僅か拾萬の吾々移殖民社會ではあるが、並び殖民でなく、英雄殖民も欲しいものである。

英雄——孝子——忠臣——天才——など、亂世である貧家であらねば出ないものであると、物識り連は云つて居る。

吾が殖民界は、貧乏であり、決して天下泰平ではないに、英雄が出ない。

今后の殖民界、英雄出でよ、英雄それは男でなくとも、女でもいゝ。女であれば英雄と呼ばず、英雄と呼ぶ迄である。

●お竹ちゃん

プロミッソン町某ガラジー、約二年程前から「ひのゐ馬」と稱す妙齡の一婦人が戯謔見習と云ふ格で住み込んだ、振出しは「將來有望な青年に嫁度し」とあつた、女氣に萎微不振の同町は湖水に投じた一石のやうに波紋である。イの一番に同町のビシオ屋の公達が申込んだ。「仕立商賣さらりと止めて俺のエスポーザに……」と訴へた、しかし事情許さず美事ハネつけられた、その一番に田舍小學校教師が申込んだ、これも美事落第、この落第組の御兩人年齡三十歳、思ひつめた初戀は未ださめず、東の空へ思ひを寄せてゐるそうです

奉祝 天長節

ノロエステ線 プロミツソン驛

雜貨商店 松藤初市

齒科院 清水安丸

松岡齒科醫院

家具製作所 藤原數己

齒科醫院 向井丈松

醫師 金野寅太 ドットル、エツカスモニ醫院

刀物類 鐵工場 山下藤次郎

雜貨商並旅館 青木多喜藏

人事相談事務所 鈴木秀造

雜貨商店 飲田彦光

自働車附屬品販賣 プロミツソン產業組合理事長 宮本浩

內外雜貨商 渡嘉敷唯正

黑島印 醬油釀造所 黑島伊平治

續雪太郎

自働車附屬品販賣 藤井正人

內外雜貨商 平田千嘉藏商店

珈琲米精撰所 マキナシヤポネザ

カーザ東山 ノロエステ線總代理人 プロミツソン中央日本人會長 間崎三三一

寄宿舍運動

朝來生

色々なる目的の爲めに設立せられたる寄宿舍なる存在物があるであらう。自分は邦人殖民者子弟に對する最も完全なる合理的教育の一機關とし、この存在的充分なる價値を有する即ち寄宿舍運動に關して暫らく話を進めたいと思ふ。

既にサンパウロ市に邦人の經營になる設備制度の完全なる邦人子弟の爲めの教育機關なる學園、寄宿舍等の存在する事實を喜ぶ。出來得るならば文化の中心に於て凡ゆる完全なる設備制度のもとに教育せられる可きである。而してより善き結果を得るであらう事は未來的完全なる事實である。

万人凡て各自の子弟をして智的に德的に充分なる進歩發達を遂げさせたらと切望するが、今日の物質文明の社會に於ては先づ最初に相當の學資金を必要缺く可からざる條件とする。さして昨今の大恐慌に直面しては現在のサンパウロ市に存在せる學園、寄宿舍に子弟を送り得る邦人殖民者が何程か存在する事であらう。悲しい哉餘りある才を抱き乍らも何等良き學園寄宿舍の恩惠に浴する能はず徒らに人才は無に去り、又學園、寄宿舍に於いても其の主意を完全に遂行する能はず、遂に邦人子弟は如何に育てられ果して何處に行く可きか。

恒產なき子弟に對し教育の門口が斷然灰色の鐵扉と化した事實は既に母國に於いて見る如くである、母國の悲しむ可き狀態を殖民地に移し斷念的に吾等は考ゑたくはない、此處伯國に於いては未だ打開的凡ゆる方法が其の儘に殘こされて居る事實を自分が信ずる。

好況時代にはサンパウロ市の學園、寄宿舍に子弟を送くり得るとも、一度不況に直面するならば直ちに退園退舍と云ふ樣な事にならねばならぬ樣では實に苦痛事中の苦痛事である。好況不況の如何に關せず一無產者の子弟たりとも易々と勉學し得る制度を有する學園、寄宿舍が續々と設立せられねばならぬ。で先づ話を進めてゆく都合上果して此處伯國に生活する吾々日本人は子弟教育に對して、伯語に依る可きか、邦語に依る可きか、或る者は伯語に依るべし、又或る者は邦語に依る可しと互ひに自個の爲らざる主觀より主唱する事であらう。勿論日伯語何れに依るとも智德的に完全なる人間になる事は明かなる事實である。而し乍ら何故に日本人のみが事更に邦語に依る教育を切望する事であらうか。結局日本人は未だ殖民生活、海外生活の根本的精神を理解して居ないと云ふ曆在的內部感情が外部的に無意識に表現されたに過ぎぬと云ふても余り過言であるまい。

邦人各殖民地に如何に多くの邦語に依る小學校の數多存在する事實よ、兒童は其處に於いて未知の遠い彼方の事々を何等研究的憧憬的興味なく、一日中教へられて居るのである。「袴」がなんであるか、「下駄」がなんであるか、「櫻」がなんであるか結局教師が一日叫んで居ると兒童は變な顔をして金針流に味ない實感ない邦字を運べて居るに過ぎないのである。

既に吾々日本人が熟知する樣に日本語は實に難解である、內地に於ける義務教育を終了せる人間が何許りの書籍が果して理解し得るであらうか。いはんや不完全なる殖民地の學校に於て一人の教師が一年級より六年級迄一室に同時に集め終日教授しやうとも其の得る處果して何程かあるであらう。教師の罪で非ず、事實一教師が同時に全學級の兒童を集め教授するなどが根本的大いなる誤りである。又斯くの如き方法に依つて各自子弟の進歩發達を願ふなどは誤れるも實に其の極みである。

昔て六年生に居る一兒童に會ひ、二、三の日本語に關し質問を發したが更に解答なし得ず又簡單なる四則應用問題だに一つも解き得なかつた事がある。で貴方は六年生の本を使つてると云ひますが、何年位學校に行きますかと聞いた時に、其の兒童は一年と二ケ月だと答ゑた——如何に超速度に進むかに全く驚く外はなかつた。又何等得る事もない事實は余りに當然過ぎる事が解つた。或殖民地の相當なる年輩の教師が盛んに民法の講義をして居るのを見た時に自分乍ら事變な笑ひたい樣な氣持になつた事がある。

教育は教へ込む事でなくして兒童より引出すのが本來であり且つ又自分は決して積極的に兒童に教へ込む事はしない、其の方が結果が良いと云ふ樣な有爲なる青年教師は殖民者の氣受けが惡くて追出されたとか——自分は人づてに聞いた。

殖民地に生活する兒童に對して全然事情を異にし文化の程度を異にした、彼方なる內地の兒童に課する教科書を用ひる事は一つの錯覺であり、本來至難なる邦語を不完全なる不充分なる設備のもとに日々講義するとも四、五年間位の年月では遂に何ものをも得る事は出來ないであらう、と云つて邦語不用論を主唱するのではない。

先づ最初は完全なる伯語により教育を授け、然る後拾四、五位才よりして母國中學校に於て外國語として英語フランス語ドイツ語を課し且つ信仰ある人間を含監とし日本語を自由に使用し得ぬとも父母を日本人に持つ小なりとも家庭的環境よりして事更に學ばずとも或る點迄は日本語なるものを無意識の裡に理解して居る事であらう。其之故に少しの努力にて至難なる邦語も容易に修得するに至るであらう事を信ずる。伯生の子弟——即ち日系伯人及び伯國にて生長せる者の生きる可き天地は結局ブラジル以外にはないのである、彼等に對する生活思想の武器は即ち完全なる伯語の智識である。父兄環境の錯覺に依り生きるべき功をうしなた失敗は絶對に無になる。日本に於ける長年の小學校教育は智識を授ける事には成功したが、德を作る事に失敗した、而し乍ら寄宿舍生活に依つてさ二拾人を收容せる寄宿舍の一ケ月總支出を試ろみに詳細に列記せん。

品名	單位	價格
白米	ミルレース	七二
フエジョン	半俵	九十
レンユヤ	三俵	五キロ 五
アスーカル	一台	三〇
サール	半俵	一四
カルネ	五キロ	三〇
	四五キロ（骨附）	三
ボン	一日三ミル	七二
マテ茶	五キロ	九十
パタタドーセ	三俵	五
パタチーニヤ	二俵	三〇
マカロン	一〇袋	一八
パーニヤ	三個	三〇
ファリーニヤ	半ラフコ	二四
バナナ、マドーラ	六〇〇本	一八
調味料		一〇
ペルドーラ		一〇
教材費		二〇
		一〇

（以下七頁に續く）

奉祝天長節

ノロエステ線
アラサツーバ驛

熊本旅館　田ノ上熊吉

新式車製作並プランタ機並木工場
青山宗一

朝日製麵所　伊藤嘉平治

雜貨商店　一ノ瀨勘助

人事相談事務所　野村直記

雜貨商　堀越德三郎

內外雜貨商並
珈琲米仲買精米所
本店　アグアリンパ郡
支店　アラサツーバ市
安瀨盛次

雜貨商並バール
出利葉羊三

家具製作所
武部寛一

齒科醫院
寶臣衛

內外商品雜貨商店
重松市助

大原兄弟精米所
本店　アラサツーバ市
支店　サンパウロ市
支店　ガララベス町
大原榮三

カーザ東山
代理人
藤田實

石井旅館
石井敬太

旅館並バール
保坂龜三

聖州新報 リンス版
支社主任 玉木從義

在リンス日本人商店工場評判記（上）

高橋商店

先頃臺灣高商の教授田中載吉氏が視察に來た時記者に向つて高橋といふ人は高商卒業以上の才能手腕をもつて居る、と語つた。と程左樣に高橋忠一君は非凡な天才的商人である。この天才が帷幄に謀をめぐらし店頭に采配を揮る高橋商店卽ちカーザ、ソールナッセンテの經營振りに五分の隙間のあらう筈はない。慶實と親切と深謀と果斷とをモットーとして悖らず、今度の大不景氣にも微動どころか、ますます基礎を固めて行くところに天才の光は輝いて居る。

高橋君は本來名古屋產であるが家兄基造氏が軍職にあつて轉任の都度金澤仙臺北海道旭川等に居住し、現在本籍は宮城縣にある。十五歲より商業界に身を投じ明治四十五年十七歲の時渡伯し瀨木商店に在ること十ケ年、二十九歲の時とし子夫人と結婚して昭和二年リンス市に來も雜貨店を獨立開業し今や三ケ年半を經て內外人顧客の信用厚く牢固たる地盤は見事に築きあげられた、明治三十一年成歲產れ少壯實業家中の白眉で洋々たる前途を持つ人である、現にリンス中央日本人會の理事で會計の重任を負ひ社會方面にも力を盡して居る、

青木商店

頭腦明敏經營の才能と膽斗の如き膽力とを兼ねる青木良助君の經營せる雜貨店である、青木君の大膽なる貸出しは巨額の金高に達し一時財界不況に鑒會し貸出の回收難に祟られたが間もなく復活し今や更生の道に勇しくも進行しつゝある。しかも過般の受難は青木君に取つては貴き經驗であつたと共に之れに處するところの態度が正々堂々であつた爲め反つて外人側に信用を加へて望外の好結果を得ることになり景氣挽回の曉には捲土重來の勢を以て展開すべく充分なる確實性を認めらるる

澁谷商會

腕一本脛一本で叩きあげたのである。

澁谷定次郎君は岐阜縣大垣市郊外代々庄屋であつた後藤甚右衛門氏の三男明治十年四月生、廿七歲の時岐阜市加納町乘問屋澁谷利三郎氏の養嗣子となつたのである、定次郎君は長兄後藤吉太郎氏が北海道旭川市に於て天鹽銀行を經營して居つた關係で十六七歲頃より同地に在りてサッポロ師範學校を卒業した後ち更に笈を負ふて上京し上野音樂學校師範科に入學音樂を研究し卒業後福井市高等小學校並に同高等女學校に聘せられ此処に暫く教鞭をとつて居たが職を辞して北海道に歸り志を轉じて金融業に着手した、蓋し其諸兄が銀行業に關係深く長兄後藤吉太郎氏が北海道に於て天塩銀行を、次兄淺沼定之助氏が大垣市に於て淺沼銀行を、姉婿大橋與市氏が大垣市に於て大橋銀行を各經營し居たるため定次郎君も自ら斯業に興味を覺ゑ個人銀行の經營に志をよするに至つたといふ。しかるに大正十一年前後財界不況時代に際會し個人銀行の新設不可能なるを認め玆に伯國進出を思ひ立つた、卽ち定次郎君は大正十二年八月野田良治氏の紹介を以て白鳥堯助氏をたより渡伯しイグアッペに假寓して伯國語の稽古と事業の研究に沒頭した、最初定次郎君の計畫は視察期間を一ケ年間とし其間に土地を購入して母國より小作人を連れて再渡航の豫定であつたが、事志と相違したので珈琲園の經營を主に商業牧畜業を從にすることに方針を立直した、しかし現在では商業が主となり珈琲園が從となり牧畜の方は未だ實行するに至らない。

昭和二年九月青唱發起してリンス日本人會を組織し推されて會長となり今日に至る、這般リンス中央日本人會成立するや理事に推薦され熱心に盡瘁して居る、趣味は書畫骨董園藝。

澁谷保雄君は明治二十八年岐阜縣不破郡宮代村西野家に產る大垣中學を卒へ金澤第四高等學校に入學したるも病氣の爲め中途退學し北海道小樽高商に轉じ大正十年同校を卒業した。保雄君は中學卒業後その母堂の親戚關係により澁谷家に入り定次郎氏の養嗣子となり大正十二年清子夫人と結婚した、清子夫人は定次郎氏の愛孃にて靜岡縣沼津高等女學校出のオ媛、二男子をもうけ至極圓滿な主婦振りである。保雄君夫妻は昭和三年四月の渡伯だから伯國には未だ新しい方である。

バール柴山

リンス市ルイス、ガマ街は何んと云ふても日本人の集まる目貫の場所だ、この目貫の中心地點にバール柴山はせかずあせらず來るを拒まず去るを追はずといふ禪味たつぷりの經營ぶりでがんばつて居る、主人公柴山勘次郎君は靜岡縣イ原郡兩河內村清地四十五番地藤太郎甥と戶籍簿に記されてあるが實際の出生地は同縣興津市で父君倉吉氏母堂とく子との間に明治十四年辛巳歲長男として產れたのである、柴山君は幼にして父とは死別し母とは生別し叔父に當る藤太郎氏方に引き取られて養育を受けたが兩親を持たぬ少年時代の柴山君には人知れぬ涙の種子が胸底に秘められて居たに違ひない、明治三十九年十月三日秘モニヤンガーバ號にて渡航免狀が下附され單身獨力海外男飛の第一歩を踏出した、時に柴山君は二十五才であつた、秘露國在住數ケ年、移も伯國は進出しリオデジネイロ、サンパウロ兩市を經由大正五年ノロエスチ線平野植民地に第一入植し更に大正十三年七月リンス市に來り現在の宅地建物共購入してバール、ホテル雜貨商を開いたのである。顧れば母國を出て既に二十有五ケ年人生の荒浪を乘切り幾度が死線を越ゑ今日の地位を築き上げた同君こそ眞に腕一本脛一本から立派に成功したものと云はねばならぬ、金錢に執着せず名利を求ひるでなく、頑固のやうで親切者何でも頼ひものを面倒がらずに良く世話をする、はよよ夫人とは琴瑟相和す方だが子寶のないのが玉に瑕だと微笑して居る、近頃竹內機藏君に三味線をひかせて歌の稽古に熱心なとてろはまさに珍風ケイである。

中須藥店

伯國に於て日本人として最初の藥劑士でありリンス市に於て唯一の邦人經營のフォルマーシャである中須矢吉君經營の中須藥店は昭和四年三月の開業にて漸く滿二ケ年の歷史を有するに係らず既に已に他の同業老舗を凌駕して隆々たる勢を以て進展しつゝある、吾等在伯邦人が一番心感ずるのは病氣の時のこと殊に昨今の如き不ケイ氣時代に金がなくては藥飲めないとの時に當り中須藥店の存在は吾々邦人にとり無上の幸とせねばならぬ、左なきだに醫師の選定、服藥の分量方法など日本語を以て親切に說明されることの病人は勿論其家族に如何ばかり力强さを思はしむるにあらうか。中須君は鹿兒島縣洽良郡西襲山村の產大正六年十二月三十日兄爲之氏の家族として渡伯し最初モジアナ線及ソロカバナ線に耕地生活をして居たが決然志を立て大正十年聖市に至りポブラール藥店に雇はれ實地に學び傍ら藥學講習會に入學して研鑽良らず大正十一年十月七日オフキシャール、デ、フォルマシャ試驗に見事合格して準藥劑師の資格を得、暫くフォルマシャサンパウロ及フォルマシャラトーリョに就職し夜間はプレパンベントに通學し中學卒業受驗準備に努め大正十二年ピンダモニヤンガーバ藥學專門學校に

（六頁につゞく）

奉祝
リンス中央日本人會

奉祝天長節
青木商店
リンス市

奉祝天長節
精米
マキナ・リネンセ
農田源行
福島力
リンス市

奉祝天長節
カーザ・ソールナッセンテ
高橋忠一
リンス市

奉祝
天長節
廣木合資會社
精米所
珈琲精撰所
リンス市

……五頁より續く……

入學爾後三ケ年間螢雪の功空しからず昭和元年三月卒業技に芽出たく藥劑師卽ちフヅルマセウチコの榮冠を獲得した、卒業後一時大河内藥學研究所に入所、昭和二年ソロカバナ線太陽植民地兒爲之氏方に歸り同年十二月山下定八小林兩氏媒妁の下に長野縣人宮下倉吉氏長女美子孃と結婚し翌三年一月リンス市に來りフヅルマセウチコ、サンジョオンに一ケ年間就職して實況調査を遂げ昭和四年三月開業今日に至る、美子夫人は長野縣立高等女學校出身で温良淑德の譽たかく、昨年店舗の前に土地を購ひ住宅を新築して温き家庭を作られて居る愛孃二人あり、中須君は業務のかたはらリンス中日會理事として衛生部を擔當し讀書を以て唯一の趣味とする、夫人は音樂と園藝に趣味を有するといふ。

□――――――□
□廣木合資會社 リンス
□――――――□
拾何軒市内にかの精米、珈琲精撰の工場があるが機械の精功と資本の豊富なるとそして經營者が非凡の手腕家揃なることは廣木合資會社の誇りとするところで又事實に於て斷然頭角を現はして居る、同會社は昭和四年三月朔日淺野利貫、廣木義人兩君合同經營の下に開始されたが昨年九月一日山本重助君加入して三名合資し廣木合資會社の商號にして法人組織となし廣木義人君が業務執行社員となつた、十八馬力廿八馬力五十馬力三台のモートルを据付け從來のマキナを取替へて新マキナは來る五月初日から運轉開始すべく既に一切の準備も出來あがつて居る。マキナの機能は精米晝夜八百アローバ（貳百俵）珈琲は晝間だけで一千アローバ（貳百五十俵）を精撰すると云ふ素晴らしい能率である、しかも社員三君とも少壯氣鋭の男士揃ひでマキナ以上の馬力を以て活躍するのだから鬼に金棒と云ふ可きだ。

淺重利貫君は長野縣の產、無邪氣なやうで明せきな頭腦を持つ好男子、輪嶺俊五郎氏の令妹を夫人として圓滿なる家庭に惠まれて居る、現在リンス中日會の教育部長と庶務部長を兼任する廣木義人君は福岡縣三井郡出身明治三十一年戌歲生れの血氣盛んな若武者だ、快活で無邪氣な點は淺野君以上、大正二年渡伯以來米穀仲買業に從事せる多年の經驗と持つて生れた剛快無比な氣性とは相待つて目醒しき活動振りを發揮して居る、リンス中日會の評議員である。

山本重助君は熊本出身、伯國には未だ新參者たるを免れないが內地に於て洗練された商的手腕と熱烈なる勉勵心とは新業の先輩を追ひ越すに手間日間はいるまいと思はれる、家庭には温順な夫人と高女出身の令孃等二女一男外に夫人の令弟がある。

淺野、廣木。山本三君共飲んで耿ムが唯一の趣味？ 呵々

（以下次号）

奉祝 リンス日本人會

太田久次郎
リンス市

宮平 市助
リンス市

藥局
中須 矢吉
リンス市

本田寫眞館
本田 安記
リンス市

佐藤家具店
佐藤光藏
リンス市

齒科醫
山中信一
リンス市

矢部洋服店
矢部政三
リンス市

ほがらかなバール
おいしい御料理
コンフェイタリヤ・オリエンタル
別府しげ子
リンス市

ホテルバール
しばやま
柴山勘次郎
リンス市

プランタ機製作所
中村鐵工場
中村仁太郎
リンス市
郵函一五四

各種 密柑苗 果樹苗 が
揃つて居ります
北西線グワヰサラ驛
森部果樹園
申込所 リンス市カーザ東山代理人
森部一衛

內外品雜貨商
菅山商店
菅山輝吉
リンス市

日本菓子並にドーセ、バラ各種製造卸小賣
福田屋製菓工場
高橋增造
リンス市

店を取ひろめ
御客樣の
御便利を主としたる
相原理髮店
御洗髮並にマッサージは
御調髮毎にいたします。
リンス市

澁谷商會
祝奉
カーザ・ブエルメーリヤ
リンス

パウリスタ延長線行脚の記（三）

各植民地の概觀。耕畫、行動、產業組合
衛生教育、其の戰陣をのぞく

S・オサム生

赭色の大道は卯月の陽下に艇々として長い。

遠くノロ線バウ線との境界リオチビリツサのあたりの千古不斧の大森林に、覆われ七百米突に近い高原地より望めば正に無限の大海に似る。

此處ベラクルーズ驛一帶の邦人農業者は、其の殆んど全部が四年及六年契約者であるが、すでに珈琲樹は綠の丘に變り地形の變化面白く母國の田舍道を樂しくの感がある。

サンロッケ耕地より奥へと進めば、咽喉で鳴らした南米呑州事北本彖太郎氏家族の一帶三々五々の集團がある。此處の地名をセラケーダと云ふ。組織に聯合希望青年團がある、會長に市川善三郎君、副會長に藤本力雄君ある。

昨年七月の創立に成り月一回發行の「あけぼの」は「星や菫」黨よりいささか異り眞に健實に成長しつゝある。「熱と力」の市川君「量と厚さ」の藤本君、顧問に兒童劇で有名な明星團長の小林勝美氏ある。上に理解ある家長の不斷無き鞭撻は今後青年團の發展の上に助成せらるゝ大なるものがあらう。

△

汗、汗。

陽少しく西に傾き影細長く地に印する頃。セラケーダの吾が農人は汗の世界に懸命である、不ケイ氣は今や少しく快復の香りを見せしも本年末が思わるゝ農人!!。誰が眞劍に農人の生活を心配するか、ふざけてもらうまい。

生兵法家や代言人や悪周旋屋は引込んで居ろ、彖の丸賣でもほぼぶる樣な空ケイ氣な話は時代遅れのブロカーにでも食わしてやれ。

不斷無きセッテーダの努力の人達にわ、戰々兢々の地域を脱して今や三角の底邊より高き水準上に浮び出で安全地帶に這入つたの感がある。

皆樣に左樣奈良を告げて、立ち上る記者の後からは數匹の犬が群れて吠かける。

祝天長節
有限責任株式會社
プロミッソン產業組合
ノロエステ線プロミッソン驛

奉祝天長節
文化殖民地
ソロカバナ線バラグワッス驛

奉祝天長節　ノロエステ線リンス驛
水城磯次
庄山才吉
比嘉松義
須山藤太郎
佐藤次郎
佐藤一郎　リンス驛バナイ植民地
バール、きちせ　吉瀬軍平
眼科　加藤憲

奉祝天長節　グワヰサーラ驛
カーザ・デイヤス
本店　ノロエステ線グワヰサラ驛　高橋善七
支店　ノロエステ線ガララベス驛　大野七郎
篠崎正常
ウニオン植民地日本人會長　內山吉藏　ノロエステ線グワヰサラ驛
日本人會長　相馬速　ノロエステ線グワヰサラ驛
カーザ東山代理人　佐藤由　ノロエステ線グワヰサラ驛

グワヰサーラ日本人會　グワヰサラ驛
鐵工場　齊藤庄吉　ノロエステ線グワヰサラ驛
珈琲仲買商　丸山丈夫　ノロエステ線グワヰサラ驛
雜貨商店　本田授　ノロエステ線グワヰサラ驛
果樹類並理髮師　奥山濱作　ノロエステ線グワヰサラ驛
水田眞澄　グワヰサラ驛

奉祝天長節　パウリスタ延長線ベラクルーズ驛
吳服日用品　日本品一切　ガゾリーナ　景山商店　影山博史
旅館並バール　原篤
日本品一切日用雜貨　商店　齊藤好位
吳服日用品　日本品一切　上田商店　上田留治
土地賣却並諸契約周旋　原口商店　原口崎藏

▲南の旅

淺見哲之助

(21) 旅愁

ゴトン〳〵〳〵、單調な音を殘して、夜氣車は闇を破つて走つてゐる。申しわけのやうに小さい驛に停車はするが大半の乘客は、そんな事を無關心に、白河夜船をこいでゐる。

冷めたい窓ガラスに私は額を持つて行つて、凍りつくやうに瞬いてゐる星坐を熟つと眺めた。私の心は段々減入つて了ふ。永い間忘れられてゐた懷郷の情がこみ上つてくる。放浪十年……自分には瞬間に過ぎて了つたやうだが、息子の成功を神に祈願して錦衣歸朝日を指折り數へて待つてゐる老母の身になつたらどんなに永い歲月だらう。その日を唯一の希望として生きてゐる老母……たつた一人の老いた者を喜こばす術すら知らず、東よ西よ、と漂迫ひ歩き、社會のどん底生活をのみ嘗め盡して來た私は、人の言を素直に聽入る事の出來ない程荒んずんだ心でも、故郷に殘して來た母の事を思ふと、純な素直な昔の心持に甦るのだ。時々何もいらない、たゞ

「お母様」……と

永い間乾き切つてゐる自分の心に此の潤ひある名を少しの僞飾もなく腹の底から呼びかけて、もう一度でいゝ、母の膝にすがつて駄々がこねて見る事が出來たらといふ願ひに生くる時がある。

感受性の强い私は、母の事を思ふ時、親に逆ひ妹を捨てゝ、自分の本能のみに生きてゐる現在が申譯けないやうな氣になつて大粒な泪が止度もなく頰を通ふて落ちる。

ひいやりと異郷の上に身をうめて
名さへ知らずとふ人もなき

自分の將來を暗示してゐるやうな此の歌を幾度も〳〵口の中で詠じて見た。丁度放浪者に相應しい運命の此の歌を……

南大河州の夜空は晴れきつてゐる、私は潤んだ瞳をしばたかして熟つと、永い間見なかつたものを見るやうに星の瞬きを眺めた。夜汽車は私を寂しい物沈みした子にして了つた。

(22) パンパの平原

モンテ、ネグロとサンタマリアで二回も乘替へをした私は、今パンパの大平原を北に〳〵一目散に走つてゐる列車に身を投ぢてゐるのだ。

「天涯まで續く大牧場。太陽は牧場に登つて牧場に沒す」

若い地理の先生が拳を握つて感激の余り机をゴツンとたゝいた。

「諸君、男子と生れて一度はあのパンパの透き通るやうな大平原の空氣を吸ふて見る氣はないか。」

先生の講義は最も調にたつした口角泡を飛ばして大熱辯を奮つてゐる。

「俺も男だ。一度はパンパの大平原に小便たれてくれるぞ」

つまらない処に男氣だし、先生の宣傳にうかされて受驗も何も可もかなぐりすてゝ私はブラジル三昇まで流れこんで來た。そうして今永い間の憬れであり願であつた天涯まで續くパンパの大平原の一角に立つて用を辨じ永い間の本望を遂げたわけだ。先生は相不變今頃も「男子と生れて」を繰返してゐる事だらう「山獄は思想を煉り、平原は事業を起す」といふ。

實際こうした際限のない平原を一日眺めて暮すと、素寒貧の私でも氣が大きくなつて十アルケールだ百アルケールだ、等々細い事でコリ〳〵〳〵騷いでゐる連中が哀れになつて來る。

汽車は一日中平原の中をどん〳〵走つて居るのに通り拔け切らない。

× × × ×

カン〳〵〳〵、驛につく度に汽關車は鐘を鳴らす、驛長さんの娘が牛を追つて來て東窓の下で見てゐる前で乳をしぼつてくれる。「一杯二百レース」のレイテブロ、獨系の血色のいゝ娘さんの愛嬌丈がおまけだ。

× × ×

ツバ屬の帽子に翻紐占めて、短い長靴、皮のズボン、赤いレンソ、汗馬に鞭をくれて、ガウショ(牛飼)が汽車と競爭する。乘客は窓から首を出して喜ます。若者は帽子を取つて禮を返す丈の有餘を見せつゝなほ馬を走らす、砂塵を立てゝ……。

×

幾千頭の牛が悠々と草をはんでゐる。平和さうに……。

×

大牧場の眞中に、一軒二軒の牧場守りの住み家がある。寂しさうにヴヮヨンを彈いてゐる若者は汽車の通るのをボカンとして見てゐる。繼も何も知らない樣な顏をして……。

×

牧場の草の中に名も知らない花が笑らつてゐた。

×

赤い大きな太陽が牧場に飛び込んだ。地平線が美しくそれは美しく色彩られた。

×

パンパの素顏だ、お化粧したらもつと美くしくなるが、たまには素顏もいいだらう。

奉祝天長節
マリリヤ驛

手塚小四郎

奉祝天長節
マリヤ青年會
仝　日本人會
仝　學園後援會

日用雜貨
日本品並一切
山下唯一商店

石川憲太郎
福双植民地

別府海次郎
別府耕地一同

佐伯仁助

原村重太郎
池田國松

理髮業　遠山勝男

小田虎雄

濱田虎雄

清水楠三郎

製菓業　梅田友二郎

家入滿

鐵工所　岩本三六

原多七

岡田德太郎

土木測量技師
ア・ナンバウロ保險代理人
岡本專太郎
ドアルチーナ町

奉祝
マリリヤ驛
パウリスタ延長線

仲買商　小川健六
花岡明生
内山繁太

御旅館　梅田金次郎

ホテル・エスタソーン　村上義雄

バール・プログレッソ　島袋完善

ホテル・マリヤ　大場鶴松

歯科醫　島田正吉

城間善吉

バール　森田穣
ルア、プレシデンテモライエス

洗濯業　島袋完次郎
島袋完忠

果實商
寫眞部　富永今朝一

果實商　深津增太郎

熔接鐵工業　崎濱秀先

道下兼太郎

奉祝天長節　ガルサ驛

ガルサ植民地　青柳半吉

ビジランシヤ耕地　大和甚三郎

洗濯業　仲亀六

時計修繕並販賣　清水仁六

三輪印プランタ機
製作並に刃物
運搬業　自動車部
酒井福太郎工場
職工一同

……（四頁より續く）

舍監月給	一〇〇
家賃	一二〇
料理人	五〇
合計	七三四ミルレース

珈琲は幼年者には有害なる爲め絶對に使用せず常にマテ茶を飲用す可きである。而して朝の茶の時間には麵麭を與ゑ午後の茶にはパタタドーセを與ゆる事が健康營養方面よりも又經濟方面よりも共に良結果を得るであらう。夕食後には各一人に一本づゝのバナナを與ふるを可とす。而して朝食及び夕食には必らずフエジョンとソーパを具ふる事他に副食物として野菜にて調理し其れに一日一キロ半の割合にカルネを投入す可きである。時々の野菜に依り食卓は相當に賑やかになる。

今簡單乍ら一ケ月の總支出を算するに合計七三四ミルレースとなる、故に二拾名の舍生にて負擔する時には一人當り三六ミル七百レースの少額の舍費食料共にて事足りるのである。で自分は二拾名の舍生を收容する事を主唱するのではない、假りに二拾名の三倍の即ち六拾名の舍生を收容せゝか生活狀態は非常に余裕を生じ支出の方面に於いても二拾名にて七三四ミルレースを用する故に其の三倍の二コントス二百二ミルレースは絶對に必要ではない……二拾名にて必要とする總支出の七三四ミルレースの二倍即ち一コント四百ミル內外の支出にて充分に生活し得るのである。勿論家の廣大なるを求むる爲めに約三百ミルレース位の家賃を出し舍監の月給を三百ミル位としても六拾名の舍生にては僅か一月に二六ミル三百レース强程を負擔すれば完完に最も合理的に一大寄宿舍が堂々と經營してゆかれるのである。假りに寄宿舍收容生を壹百名とせゝか各一人が毎月拾九ミル程負擔すれば良いのである而して今一歩考ゑるならば毎月百名の舍生が將來寄宿しやの建築の爲めに資金を積立てるとして毎月三ミルレース宛納めるならば月に三百ミルレースの多額の金が出來る、一ケ年に二ケ月の休假を除外して拾ケ月となし即ち一ケ年に三コントス、デ、レースの積立てとなり七年後には二拾一コントス、デ、レースとなる、實に容易に一大寄宿しやを最も理想的に建設し得るのである。さて建物に對して月々の家賃を不必要となれば一ケ月のしやや費は益々何人にも容易に支拂ひ得る樣に必らずなるのである

現在成る一部の人々の言ふ樣に、未だ學園寄宿しやが形だに設立せられぬ前に土地が必要だ、資本金が必要だ建築物が必要だ、資本金が必要だなどゝ言ふ事には一寸當を得て居ないかと自分には思はれる學園寄宿しやの設立には最初に資金などは全然不必要である、唯だ缺く可からざる一事は即ち殖民者各自の切實なる熱と意氣である。で斯ふした事業に對しては恐慌言には全然別問題である事實を知らねばならぬ。

在伯國邦人間に於ける子弟教育寄宿しや運動は實に將來的永生なる運命線上に在る未來的事實を自分は倍して信ずる、而して結局惡しき制度は次第に滅び其の後に完全なる存在物のみが雄然と存立せらる可きである。

物質生活の破綻は邦人殖民者の精神生活にも大打擊を與ゑた恐慌に直面し苦しむとも子弟の教育は彼らに捨てる可きではない、何等多額の物質を要せず邦人殖民者一同が完全に熱と力を以つて團結する一事に依つて其處に最も合理的なる寄宿しやが創造せられ年と共に邦人子弟は智德育的に實に全き日系伯人たり吾等の第二世となる事であらう。

自分は斯く信じ、斯く主唱するものである。　完

奉祝　アラサツーバ　パーツ

祝　日本人會　同一

アラサツーバ驛

奉祝天長節　ベンナポリス驛

ベンナポリス青年聯盟
會長　田上美登次
副會長　本多智五郎
會計　青木弘見
常任幹事　岡本忠勝
仝　積田三郎

ベンナポリス共愛學園

代田旅館　代田喜市

昭和旅館　平藤作

洋服洗濯業　村上繁松

雜貨商　兒玉兄弟商店

雜貨商　山本幸作

雜貨商　西元芳熊

雜貨商　佐藤常喜

山村齒科院　山村亀吉

奉祝天長節　ビリグキ驛

內外雜貨商　山口兩助

中村旅館　中村忠吉

伊藤齒科院　伊藤達馬　ビーラ　ニポランジヤ町

バール　ミカード　山內一久

江藤バール　江藤子之八

藥局　森眞　中村吉三

山本旅館　山本政義

淺川旅館　淺川米雄

奉祝天長節　ガラペス驛　フルタール町

福井耕地　建本健介

雜貨商　大枝一吉

長尾旅館　長尾與三

雜貨商　古賀菊治

奉祝天長節　カフエー　ポント　上江洲朝昇　マトグロツソ州ツレス・ラゴアス驛

醫師　大庵喜八　アラサツーバ驛町

ホテル東京並赤白球場三臺　吉田壽三郎　アラサツーバ驛町

復興を目指して

岸節美

私達は日本人である。然し當國に在る以上伯人と共に奈何として此の不況の立直しをするかを考へねばならぬ。

不況—珈琲相場の下落——强烈なる痛棒を加された現今の伯國は、容易に復興し得ないであらうか？今後益々吾等の前に不景氣は來たり、國民は臥薪嘗膽十年の辛苦を經驗せねばならぬのであらうか？又同時に爲政者は消費者と協力して勤勉節約し、火の消えた後の樣な寂しさを味ねばならぬのであらうか？

否——私は强く叫ぶ、復興夫は必ず出來得ると思ふ、唯治療法としては永久的の意味を待ならず爲政者は特にこの點に注意が必要と思ふ。

とる可き復興策としては、先づ第一に今後不景氣の襲來する樣な政策をとつてはならぬ事は謂ふまでもない。兎に角好景氣は何人も攻擊すまひ、國民の消費する生活物質の豊富なのは貧弱な人よる結構と思ふ。

見よ、此の不景氣に依り奈何に無智の子供まで傷つけられたかを。……倹約はよい、然し夫さ能率を發揮するものを意味するまでなくてはならぬ。

欲しいものも買はず喰はず〳〵で貯金すると云ふ事か、倹約の意味ならば吾々は此の倹約を呪ねばならぬ。

要するに物資に無理な節約をしない倹約をのぞむ。奈何さる人道學者も好景氣を攻擊するものは有るまい、萬一好景氣を不可ならばとすると、夫は好景氣が不可なのでなくて夫に隨伴する他の現象が不可なのである。即ち放縱贅澤國民一般の成金氣分が不可なのである。故に吾々の採るべき道は好景氣の隨伴する現象を排斥して、好景氣の本尊を嫌が上にも神々しくする事である。

とに角復興策を樹立する爲めの要諦としての其の方策は、彌縫的でなくて永遠的でなくてはならぬ。永遠的——夫は十年より百年と云ふ如き時間の上の比較的永遠でなくして、文明の質の上の永遠でなくてはならぬ。即ちこの不ケイ氣を原動力とし復興策の根本主義として、吾々は勤勉努力刻苦を勵み質素を戒慎し合ねばならぬ、まして邦人中には山師的事業の經營者も少なくない、夫が一朝今回の不況に打負れて見ると余りにも弱きものがある。過去の好ケイ氣に有頂天になつたものは淡ひ夢を見るであらう。「おごる平家は久しからず」とは此の事である。

依つて私はこゝに「悔い改め」の相互宣傳を强く必要とする。

彼の露國の革命をなし遂た大策士レーニンさへやはりこの「悔い改め」の相互宣傳をやり努力を勵んで倦む所をしらないのであつた。

吾々は今や之を根本的の使命として歩ねばならぬ。そして復興策の實際案は政府のあづかり知る所で吾々日本人の述べる所ないと思ふ。

此処まで拙ながら抽象的に運でき來た、又之が此の短章の目的である。唯最後に具体的の内容を書たら、先づ吾々の復興の土台として取る可きは何であるか、突つめて言へば結局は「吾々は復興し得る」との自信である。

其処には珈琲の下落も不況も、泣かぬ信仰がある、又夫が最後の依據點でもある。

何が故の自信か、勿論夫は算盤の上で出た數等ではない、兎に角非合理な信念が吾々の中に有る。何処にその証據があるかと言へば、吾々は唯現實の心を反省して見るとわかると思ふ。

吾々邦人中に山師的事業の經營者として根本から事業の立直しをするべしだ。

須らく復興策は永遠的なれ——

邦人諸兄よ、不けい氣立直しとして根本的に、勤勉努力刻苦勵精を勵み「悔い改め」の相互宣傳をしようではないか。

寸感妄談

寸南生

此所、伯國も所謂世界の文明人入國によつて曉蒔ながらいろ〳〵な問題が擡頭して來た。そして吾等もよかれ惡かれそれ等の問題に關係があるんださうだ。ツイ先頃も日本人間に禁酒運動とかゝ起りかけたさうだ、これに對してある部分の人達は、亦かゝ……といつた顔で他人事のやうに眺めてゐる、禁酒運動者は飲酒家と財政とか、飲酒家と子孫とか、實に親切な注意をして呉れてゐるにも不拘この冷淡さは何事ぞ。と抑考へさせられる飲酒家に言はすれば、酒を止めろなんて、常人の出來ることぢや無い、假にこの部落の日本人同志の間に酒のため取り返しの附かぬ失敗をしたとか、又は恐るべき慘劇があつたとかしたら其の目擊者内至附近一般の人達はその衝動で酒を恐れて止めるかも知れぬが、まあ普通愉快になる程度の平和な飲酒家に酒をやめろつて。一寸出來ない相談だ。酒を飲まん者より飲む者の方が不經濟位は知つてゐるし、飲酒した場合生を享けた子供は何んな影響を受けるか位ひも多少考へてゐる。何しろ時間と仕事の關係で、シネマとか何だとか他に樂しみの求められん吾々だ、まあ一杯の晩酌で親父がニコ〳〵顔をしてゐれば山の中の一軒家でも平和な月日が送れやうといふもの……と。まあザットこんな話。一ッは、いろ〳〵と階級によりますよ、と成る程それもあるかも知れぬ。で僕は二三日前街へ出た時、店に寄つて見ると、何時もは余り氣の附かなかつたいろ〳〵な瓶、或は赤、青、黄、金色、角瓶といつた容器が—即ち生理的にも道德的にも有害有毒な作用を營むところの液体が……惹いては國家と社會と人道の基礎を危ぶからしめる破壞的性質を多分に含有してゐるところの危險物が、高い棚にズラリと並んで「何うだ」といつた顔で自分を眄睨してゐるやうに思はれてならなかつた

禁酒……といふことは飲酒家對手とばかり思つてゐたに、マルデ酒を呑まん人間にも赤青黄禁酒飲酒……とゐつた感じを起こさせるものだなと一寸苦笑した

◇……◇

◇……◇

○男らしい仕事とは……
　汝のなし能ふ事を全力を尽げて爲すことである

○生きるといふ事は……
　呼吸するの謂に非らずして爲すあるの謂である

○社會といふ所は……
　決して人の實力の飛躍を妨げないものである

○健康とは……
　快活から咲く花である

○快活とは
　運動と節制と衛生の根から生へるものである

○最高美とは……
　心の清く正しく快活な事である

奉祝天長節 グワランタン驛
岡崎亀吉

石川増太郎

重田パール
重田茶吉

村上商店
店主 村上茂人

奉祝天長節 カフエー ランジヤ驛
仲買商 中野止

カーザ東山代理人
田中龍介

洋服洗濯業
岡林福吉

伊勢屋旅館
日本料理店
宮坂實

自動車修繕工場
西元重志

福原信義

尾崎彌三郎

藤原

日本料理
中田旅館
中田菊治

日本人會長
副島雜貨店

内外
日用品
雜貨商
エビスヤ
菅山光

寫眞館
ロツトン スタヂヲ
桑田
大堤

内外雜貨商店
竹内豊次

醬油釀造所
藤澤豊次郎

乘合自動車業
丸石旅館
丸石印プランタ機
丸石兄弟鐵工場
丸石由松

郵便物取扱所
古庄常喜

正々堂々改善はするも
低止せぬノロエステ銀行
取引中止説け全然無根

去四月十日發行第五七一號本紙上に「ノロエステ銀行の取引中止」との標題にて緊急事件落着迄取引停止すると云ふ飜譯記事を載掲したが、事實は同銀行株主總會開會につき定款の條項に基き株式の賣買讓渡を一時停止したるのみにて一般營業を中止若しくは休業したるにあらず、現に營業に從事しつゝあるから該飜譯記事は全部玆に取消しておく

右に就き記者は同銀行リンス支店を訪問した、今回の金融財界に於ける一大パニック勃發以來何等かの曰く因縁を結びつけんとする揣摩臆測がやゝもすれば行はれやすい時節柄その眞相を鮮明ならしむる必要を認めたからである、記者の質問に應じて支店長シゼオリベーラ、レイチ氏と池田靜夫氏の兩名は交々説明する

御覽の通り當銀行は決して取引中止も休業もしては居りません、取引中止などは全然無根であることを事實に於て證明し且つ懇切に説明されたノロエステ銀行の本支店中に於て特にリンス支店は取引顧客を大部分日本人に持つて居る、そうして又リンス市に於ける各パンコの支店の内で創立開業の起源の古いことも先日今昔物語で書いた通り同支店が第一であるそれだけ日本人との取引關係も深く顧客も多い、かゝる緣故の古いだけ同銀行では日本人の顧客に重きを置き池田氏は勿論支店長以下各行員諸君も氣持よく應待し便宜を取計らつて居る、支店長シゼオリベーラ、レイチ氏は年齢未だ三十五六歳の少壯銀行家で以前リンス支店の出納係であつたが天分ゆたかな才能は忽ち引立てられて今はリンス支店長を兼てノロエステ線所在各支店の監督者たる重任を負ふて居る、同氏は大に日本人好きとして有名である

池田靜夫氏は廣島の人、大正二年渡伯しリオ、デ、ジャネイロ市の商業學校出身である。卒業後ノロエステ銀行本店に採用され專ら同行の爲めに勤務し且日本人側の金融取引上の便宜を計つて居るが四年前日本人大集團地たるリンス支店に來る本來の使命に盡瘁しつゝある、池田氏は平常銀行の事務多端に追はれ母國人と密接に交際する機會が少のを遺憾としてゐるやうだが、まことに止むを得ないことゝ云はねばならぬ

同リンス支店では近い内に建物を改造して明るい氣持の良い設計の下に顧客の便利と執務能率分の增進とを計ることになつて居る、因にノロエステ銀行の預金利息は左の通りである

當座預金利息(小口)年三分、制限預金利息年五分、定期預金利息年六分年六分半年七分

「小生意氣な振舞はよせ」
バストスの肅正成る
畑中主任の英斷。植民者の蹶起 雨降て地固る

バストスのバンガロウに「天下の會計さん」とばかり納りこんでゐた樋口謙造、溝部義夫なんぞといふ七の人間所小壯事務員達が柄にもない事務革新なんぞといふ美辞を弊瓶に盛りこんで——要求容れられずんは連袂辞職——と請願書やうなものを懷中に殷き、清水前代議士も植民者の總代表となりて彼等の非を諭せども客氣に出でたる彼等の面目上と植民者契約者從業員が平素み嫌はれて居た者で此の程やつ

▲植民者は蹶起 組長十三人と百を越ゆる有志は事務所に殺到し「移住地の發展を防害する、出るか、仕事をするか」と畑中主任絶對支持の下に協議を進行する、畑中主任は懇々と彼等に誤謬を指摘して仕事に精進すべく說き、清水前代議士も植民者の誤解を釋いて彼等の非を諭せ日本人側にも種々樣々惡事の限りを働き、最近には黑の小娘に姙娠せしめてカデヤにぶち込れ所謂社會の毒虫として蛇蝎の如く忌み嫌はれて居た者で此の程やつ

横濱正金銀行は是迄日本貨定期豫金利息六ヶ月以上年四分五厘を支拂ひ居たるが、今回豫金協定利率引下に基き年四分二厘に改めた由四月十六日同銀行リオ支店より通知があつた

正金銀行の利息引さげ
年利四分二厘

惡徒黑坊最後の幕

リンス市居住半黑フランシスコイラールといふ男は之れまで執拗の手先に使はれ外人は勿論日本人側にも種々樣々惡事の限りを働き、最近には黑の小娘に姙娠せしめてカデヤにぶち込れ所謂社會の毒虫として蛇蝎の如く忌み嫌はれて居た者で此の程やつ

警官鐵砲組を編成し
大和植民地馬賊退治
首魁を捕へ巢窟を燒拂ふ

リンス驛大和植民地第二區邦人五十歳ばかりの伯國人にて同人小學校に賊徒侵入し椅子其他金品を窃取したる盜難事件は既報の通りなるが、ジャツリーナ町の岡村氏等有志の訴出でによりリンス警察署では警官を派遣し去四月十五日逮捕手配に着手し警官は鑑め遠くはブロミツソン方面にまで手を延ばし散々荒し廻り、牛馬豚等の家畜と云はずあらゆるものを手當り次第に盜取り特に昨今に至つてはサンタアメリカ大和植民地等の植民者がアローサツコを山に置いて居るのを片の端から中味のアローサはあけてサツコを盜むなど被害頻繁なる折柄、たま〳〵小學校盜難事件發生したるを動機に植民者も棄ておけず警察に訴へ此の擧に出たといふことだ、彼等の巢窟には窃取したる藏品カミニヨン一台に滿載するほどありたる由にて該藏品はジェツリーナ警察出張所に保管されあれば被害者は同所に屆出る可しとのこと

バストス事務所二派爆發す

ソロカバナ線ランシヤリヤ驛プラ拓經營のバストス殖民地事務所事務員は約一ヶ年二派に分れて睨み合中の処、去る四月五日沸騰部、島田、岩橋、湯淺、山下の七名により畑中主任へ提出排斥決議書が進行思はしくないので聖市本部水島主事へ談判懸け合中の処被排斥組の山下明、松本、高柳小杉の四名の方が沈默のまゝの押强さを示したので事件は益々不良連も夢中になつて「主任の命でも出勤しない」と頑張

七名へ植民地撤退を執行されたと裝裝に無戻つて來たが、自動車第百五十號の運轉士某との間に土地交換による金錢上からいざかひを生じ其結果去十五日午后七時半リンス市ルキス、ガマ街下手通の街路に於てピストルにて難なく射殺され幾多の惡業を殘して往生した、一方加害者某はこの惡徒を殺すや否やかねて番號札を取換おきたる自動車に乘つて逃亡し行衛を晦した

佐藤内山兩氏聖市行き

過日協議を開き決定したリンス中央日本人會產業部に於ける產業組合設立に關し在サンパウロ總領事館並勤業部訪問の件は既報の如く佐藤中日會常務理事長内山產業部長兩氏其用務を帶びて去二十三日リンスを發足パウルに於て濱口領事と會見を丁し一泊の上聖市に向つた

CASA TOKIO
木材家具商
カーザ東京
聖市サンタ、エフイジエニア
彩本芳之助

ノロ線運動聯盟代表の選手廿五日出聖した

天長節の今日を晴れの聖市に催す日本人運動會の競技へ、大使盃を得べくノロ線の運動聯盟は左の如く去る廿五日出聖した

プロミツソン代表—△阿鷹富夫△中村△登△山田△天野△平田△木内△リンス代表—木村△木下△池田△重富△横溝△カフエランチヤ代表—△平岡△宮田△吾妻△白須

外務省次官決る

十五日矢吹省三政務次官に田中武雄參與官に新任さる

中古擊劍道具 貳組

右相當代金にて御讓りたし御希の方は聖州新報リンス支社へ御照會を乞ふ

(姓名在支社)

イグワツペの殖民地主任中野氏ノロ線視察

海興イグワツペ殖民地主人中野巖氏は去る拾七日聖市發先づモヂアナ線に入りアニユマスを經て二十五日來芭一日滯在後廿七日朝十時の汽車にてリンス向け出發した、ノロ線邦人殖民地視察の爲めでプロミツソンやパラマンサの日伯耕地を見アラサツーバを經てチエチ。アリアンサ殖民地迄と

奉祝天長節
近代日本文化の繪卷
新着映畫巡回
來る五月上旬よりブロミツソン及リンス奥地植民地を振出しに各地邦人集團地に於て新着近代日本文化紹介映畫を巡廻映寫致します。何卒御後援希上ます。
映畫プログラム
一、帝都復興の盛況
二、近代の教育、小學校、中學校、大學、女學校
三、名勝地、日光、奈良、京都嵐山、鎌倉の大佛、江の嶋海岸
四、瀨戸内海の夕照、安藝の宮嶋、神戸港
五、大工業地大阪市島畝、別府温泉、雲仙
六、昭和聖代の偉觀
大觀兵式。大觀艦式
七、松竹蒲田特作
現代活劇「熱血の握手」
三田東榮子。二葉かほる主演
日伯シネマ社
巡回映寫部

奉祝天長節
齊藤醫院
齊藤等
ドツトル
ドツトラ 齊藤わか子
パウル市インコンフイデンシヤ街

大阪商船會社
◉日本へ一番早く着く
優秀な新造客船
◉北米經由サントス日本間六十日に短縮
(命令定期毎月一回)
◉日本へハワイ丸 五月二十日サントス發 五月廿二日ラオ發
◉日本よりヴエノスアイレス丸 五月九日サントス着
代理店
Santos: Houlder Brothers & Co. Ltd Rua do Commercio, 35
S. paulo: Theodor Wille & Co. Rua Libero Badaró. 52 S. Paulo
◇御歸朝客又は神戸から御郷里の內地各港迄驛社船無賃乘繼の特典を設けました、但し沖縄行は各等五割引。
◇日本より家族御呼寄船賃支拂便法は左記へ御照會願ひます。
サントス駐在員 酒寄守
Caixa Postal. 388 Santos

奉祝
在伯
球陽協會
事務所
Rua Senador Feijo 210 Santos

奉祝
中平三夫
マリヤ驛

奉祝
果實商
理髮業
下田福松
マリヤ驛

奉祝天長節
激ノ上精米所
工場主 瀨ノ上保生
外 從業員一同
ノロエステ線アラサツーバ變更線
ガラペス驛フルタール
郵函 百五十番

奉祝
日本品直輸入商
サンパウロ市
中矢熊太郎商店
日之出醬油釀造元

奉祝
自動車修繕並
附屬品販賣
柴田一明
ブロミツソン町

文藝

（投稿歓迎）

戯曲　東方の光

【六】

太田外傳作

三場

元旦黎明近い空氣は稍々冷めたく外は未だ薄暗である。

坂川は旅行の準備をして居る妻のアントニア時々吐息し乍ら無言でそれに手助つて居る（息詰まるやうな情景）

「急いでくれ、子供達の起きぬ前に出立し度い（憂鬱に）」

「ではどうあつても今日發たねばならないのですか」

「思いついたが吉日といふ事がある、殊に日本では一年の計は元旦にあり、元旦の計はその朝にあるとして居る位だ」

「もう少し氣を沈めて御考へ下さい（啜り泣く）」

「考へ盡しての結果だ、何ぜ今になつて未練がましく躊躇するのか、お前が、先日愛する者の幸福のためには總ゆる身の犧牲を惜まない事を誓つたではなかつたか、わしはこの平和な家庭生活は倦き〳〵した、もつと〳〵人間らしい生活がして見度いからだ、將来て、わしの求める道が正しいか、それとも曲つて居るかを決定するには脚一歩家庭の雰圍氣より飛び出さねば解らぬことだ、（手を休めて妻を見て何を泣いて居る）

「子供達が可哀想です」

「今日わしの新生の門立に際して不吉な印象を與へてくれるな、この一生涯の黒、白、の分岐點に立つてゐるこのわしに……」

……二十年前の祝日の正月があゝ……幻影的にわしの頭に浮んで來た、郊外中野の里では今日も昔のやうな樂しい正月を送つて居るに違ひない。（他に人なきが如く二十年前の故郷を偲ぶ）それに比すればなんといふ淋寂な異郷の正月だ

「……」

アントニア、夫婦の眞の幸福を感謝する時はお互が離れてはじめて知るのかも知れないのだ」

「いーね、妾はそう思へません夫婦が相抱き魂と魂が合致した時にこそ其處に幸福と感謝があるので夫婦が離れて幸福は存立しません」

「お前はお前だけの幸福によつてのみ他を批判するからである」

「勿論、妻の幸福は夫の幸福と思ふからです」

「それは世間百般人の考へることで、東洋人の血を多分に持つて居る、わしにはあてはまらないことだ（一寸間を置く）そんなにシャッチはいらんよ」

「でも旅先きです、一枚でも多く持つて行かないと……」

「それから先刻から言ふと思つて居りましたが露子は近く日本に歸り度いと申して居ました」

「なに露子が歸る、本當か……（驚く）」

「どうしてもお父様や、お母様の處へ歸り度いと言ふのです」

「本當だね（念を入れて）」

「露子さんの身の上を解決してからにして下さい（嘆願する）」

「すでに解決はついて居るのだ東で播かれた草花は其処で咲き實るのが最も自然の姿である徒らに東方の草花が西の土地で育てられて居るところに大なる矛盾と惱がある（露子の問題に至るとこれをさへ切り）」

「その儘で日本の露子の父様に義理が立つと思ふのですか、情ない姿になりました、余も急激な大きい變動ですクリスト様一人の迷へる者を導いて下さい、善良なる妻の夫をです、人間の暗に迷つて居るのです。惡鬼の仕技です、神様よ何卒善良な夫に歸して下さいませ」

「無駄な祈りは神を助長させるのみだ、止せくだらぬ、神が創成主であるとしたら、何故このわしを東方に生み、西方にこの煉獄に焦燃せしめたかこの旅行中にその原因を神に追求せねばならない」

「神様を呪ふことは恐しい事です、地獄に落ちた人でも神様を信んじればきつと救れるのですもの……神様は公平で御慈仁深いのです」

「何にかも言ひ終つた事だ急いでくれ」

「切めて子供達に一度別れのキッスを與へて行つて下さい」

「お前は子供々々と言つて子供を代物にしてわしの足を澁らせる積りか、離れも永遠の別離と言つた理由でもあるまいに」

「他人様を殺すやうな殺人囚でさへ我が子に後引かれるものを貴方は親心がなさすぎます（啜り泣く）」

「子供達が起きてパパアーさんは！と尋ねたら商用で田舎へ行つたと知せて置け、又お前の父にも適當に辨解したがよからう、この二、三年、やうやく、和解したばかりの……一齊を清算する時が來た、おゝ東の方から元旦の太陽が昇り始めた、わしの新生の廉出を祝するものゝ如く、昇れ〳〵太陽よ東の太陽よ！そうして人間の罪渦と虚僞を燒き盡して新生の彼方へ沒せよ、わしは四十一才の今日東洋人として再生したのだ（東方より元旦の太陽は地平線を昇り始め眠れる家々の壁面に靜かに流れ映り舞台次第に明るくなる）一人の人間が生れた、（兩手を擴げ力一杯元旦の空氣を五月鯉のやうに吸ふ）

幕　完

診療時間　午前三時より六時まで

聖市ファグンデス街八

電話　七—四六八三番

高岡專太郎

一千餘名の移生おば
　雙肩せられし船長は
　時勢にほとる猛者とて
　其の名も人に知られたり
二、五拾餘日の海上も
　日本男子に何の其の
　サントス港に安着す
　時は四月二十九日
　見れおうくも今上の
　佳節と其日を共にせし
　第三航路の勇士こそ
　所々に其名知られたり
三、星霜茲に二十年
　農工商の別あれど
　豊富みなぎる伯國に
　各自に其礎をかためつゝ
　東洋健兒の發展と
　拾數万の同胞を
　導引なせし吾等こそ
　盡せし心は國の爲
四、嗚呼皇國の同胞よ
　千里比隣の今日世を
　強弱心共にして
　有無互に相通じ
　益々產業勵みつゝ
　同胞發展構すべし
　是ぞ平和の戰士たる
　吾等の盡す道ならん

聖歌報壇

（投稿歓迎）

在伯貳拾周年

竹村第三回航路

ベンナボリス　代田喜市

一、頃は大正元年の三月三日の吉日に
　神戸埠頭を拔錨せし
　船は名におう厳島

Missão Japoneza do Brasil

聖州義塾

寄宿舍、夜學校
衞語　通信　教授
主任　小林美登利

サンパウロ教會

サンパウロ市ガルボンブエノ八十五
電話七—五二九四
日曜學校午前八時半
大人集會午後八時

御料理　つるのや

聖市コンセレイロ・フルタード四三

すしそば　うどん　御料理

あをやぎ

コレゼ坂上三十三
電話二…一九四八

旅館　バストス

御視察の際には是非當館へ

ソロカバナ線　ランシャリヤ駅バストス移住組合病民地内
吉永宗義

Hotel Japao

Mario. H. Arita
Rua Antonio Prado, 52
Phone 81
Est. Araraquara

日本旅館

館主　相田寛雄

アラ、クアラ驛前

郵函二五　電話八一

奉祝　前田廣治　アラサツーバ驛町

日本植民者諸君！

日本植民者諸君！パウル市にポプラール藥局を理い開店致しました。場所はアベニーダ、ロドリゲス、アルベス七—八四番でございます。聖州奥地稀に見る充實せる藥局でございます、又調劑も總の點に保証すると尊る御顧客様に申上げます藥品は總て當店にて調劑しあるもの是れ藥劑化學の精工なる製品でありますし、尚何日も効能顯著なものをおすすめ致します御病人諸君の御必要なる藥劑は當ポプラル藥店に常備してあります

パウル市アベニーダ、ロドリゲス、アルベス七—八四
前リベルダーデ街の角屋敷
ポプラール藥局

Fazenda Suissa

ノロエステ線リンス驛
スヰツサ耕地
臨時珈琲採取
コロノを募集す
百十リツトル入一俵に付
貳ミルを支拂ふ
當耕地の良好なる事既に定評あり
大いに日本人諸君を歡迎す

奉祝天長節

大河内藥化學研究所

サンパウロ市

Hotel Ushio

Caixa Postal 328
Rua. Rangel
Pestana 44 Santos

大阪商船指定切符取次所

ホテル潮

電話一九二四番
郵函三二八番

借地農大募集

一、場所　マリリヤ市より五キロの地點
一、地質　マサツベープレート
一、條件　參ケ年間作物隨意
特に米作、バタチンユヤ、セボーラ、アーリヤの栽培に最適の地
詳細なる點は左記宛直接に御照介の程を
パウリスタ延長線マリリヤ町
東洋館旅　**梅田金次郎**　付

大阪商船指定切符取次所
聖市旅館同業組合

東京館　マウア街　仲村渠三郎　二九一
大和　コレゼレイロ・フルタード街二　坊迫健造
上地　ボニタ街一一　郵函一二二五　上地彌藏　電話二—一九二一
ときわ　コンデ・デ・サルゼダス街四一　石原桂造　電話二—二六九〇
旭　コンデ・デ・ビニヤール街二一　秋田桑三郎　電話二—一七八二
末廣　コンデ・デ・ビニヤール街一番C二階　中山忠太郎　電話二—五六三八
小川　コンセレイロ・フルタード街一六　小川源右衛門　電話二—四四七

パウリスタ延長線

土地賣出し

一、場所　ジアフアー。ベラクルーズ驛間鐵道を境界にして百五拾アルケールス
一、地權　絶對確實保証付
一、條件　アルケール付一コントス最初契約と同時に半金入殘金は四年後拂での好條件但し利子付
一、ベラクルーズ驛近く全部珈琲地帶なれば、一アルケール一コントス
珈琲及間作地帶なれば、五百五十ミル以上總ての土質はパウダーリヤ地帶最上の場所
既に多數の契約有り、詳細は左記へ直接に
ベラクルーズ驛前
原口商店内

Ca Industria e Commercio de Loja
São Paulo
P, Alvares Penteado 25 Caixa postal No 1
Tel 2—5031

今般當會社業務開始ニ伴ヒ各驛壹名ノ確實ナル日本人ノ方ニ大豆取引及ビ種子其他大豆加工製品ノ取扱事務ヲ屬托シタシ
希望者ハ畧歴ヲ添ヘ且ツ其地方在留日本人農業家族數ヲ附記シテ至急申込レタシ

大豆工業株式會社

聖市アルバレス、ピンチヤード街二五
郵函第一番電話貳—五〇三一

謹告

謹啓日益御清榮奉賀候
陳者去本月十二日當ジエツリーナ驛事務所に於て委員會開催の節左記の諸氏御寄附有之候に付此段會員諸賢に謹告仕候也
昭和六年四月

福岡縣海外協會ジエツリーナ支部

一金貳百九拾釼也
内譯　金五〇釼　山下藤太郎氏
　金參〇釼　大坪惣次郎氏
　同上　高山　久吾氏
　同上　中村　清藏氏
　同上　國武　進氏
　同上　日野　文太氏
　金貳五釼　國村　良七氏
　金貳〇釼　牧原　榮氏
　同上　中野芳太郎氏
　金一五釼　梶村　作次氏
　金一〇釼　檀　與次郎氏